

おおさか脳卒中の会

9周年記念イベント

講演会!

2025年10月18日(土) 13:00～16:30
住所: 大阪市東住吉区南田辺1-9-28
早川福祉会館401号室

参加
無料!

お問合せ先 NPO法人 いちいちまる内 おおさか脳卒中の会
TEL-06-6777-3014 細川

勝谷 将史氏 西宮協立リハビリテーション病院 部長

13:00～14:30

リハビリテーションとは何か?

～歴史から最新の治療まで～

- ・兵庫医科大学卒
- 【専門分野】脳卒中、痙縮治療、義肢装具、地域リハビリテーション
- 【資格】・日本リハビリテーション医学会専門医 ・義肢装具等適合判定医
・日本リハビリテーション医学会指導医
- 【学会活動他】・日本リハビリテーション医学会代議員
- ・日本リハビリテーション医学会近畿地方会幹事 ・日本リハビリテーション病院・施設協会理事
- ・日本生活期リハビリテーション学会代議員 ・日本ニューロリハビリテーション学会評議員
- ・義肢装具学会正会員 ・兵庫県リハビリテーション医会常任幹事 ・兵庫JRAT理事



勝谷将史先生

木岡 伸夫氏 関西大学名誉教授

14:40～16:10

「〈あいだ〉を開く対話」

1951年、奈良県に生まれる。京都大学で哲学を専攻、大学院D.C.退学後、大阪府立大学総合科学部（1988年より9年間在職）を経て、1997年から関西大学文学部に勤務、2019年度末に退職、現在は同名誉教授。学生時代に専攻したベルクソンの「生の哲学」をベースに、地球環境危機が浮上してきた20世紀末からは、人と自然、人と人の関係性を考える、最も広い意味での環境哲学を、ライフワークとして手がけてきた。2002年度の在外研修では、パリのEHESS（フランス国立社会科学高等研究院）でオギュスタン・ベルクに師事。以後、和辻哲郎が最初に切り拓いて、ベルクの継承した「風土学」の理論構築を、自身の課題として引き受け、その完成にこぎつけた。

風土学の理論三部作は、『風景の論理—沈黙から語りへ』（世界思想社、2007年）、『風土の論理—地理哲学への道』（ミネルヴァ書房、2011年）、『邂逅の論理—〈緑〉の結ぶ世界へ』（春秋社、2017年）。ほかに、『〈あいだ〉を開く—レンマの地平』（世界思想社、2014年）、『〈出会い〉の風土学—対話へのいざない』（幻冬舎、2018年）などの著書がある。

風土学の理念である多分野の共同研究から生まれた編著には、『環境問題とは何か—12の扉から』（晃洋書房、1999年）、『都市の風土学』（ミネルヴァ書房、2009年）、『〈緑〉と〈出会い〉の空間—風土学12講』（萌書房、2019年）などがある。



木岡伸夫先生